



ふれあい 檜の台

No.60

令和 6 年 1 月 1 日

発行：檜野台ふれあいのまちづくり協議会

神戸市西区檜野台 5 丁目 4 番地 2

檜野台地域福祉センター

TEL・FAX (078) 991-9922

ホームページ →

<https://kashinodai.sakura.ne.jp/wp/>



創立30周年を迎えるにあたり

～人の移り変わり～

檜野台ふれあいのまちづくり協議会 委員長 傳田雅明

新年おめでとうございます！

本年もよろしくお祈りします。

“檜野台ふれあいのまちづくり協議会”は、平成6年10月20日に創立し、今年で30年を迎えます。

30年前からの移り変わりを檜野台地区の人口構成の変遷を図表で表しました。これによると、檜野台地区は国内の他地域と同じように、人口減少、超少子高齢化が急激に進んでいます。

推計によると2～3年後には、人口がピーク時より2,000人余り少なくなります。特に15歳未満の子どもの構成比は25%が10%に、そして、65歳以上の高齢者は10%が40%になります。

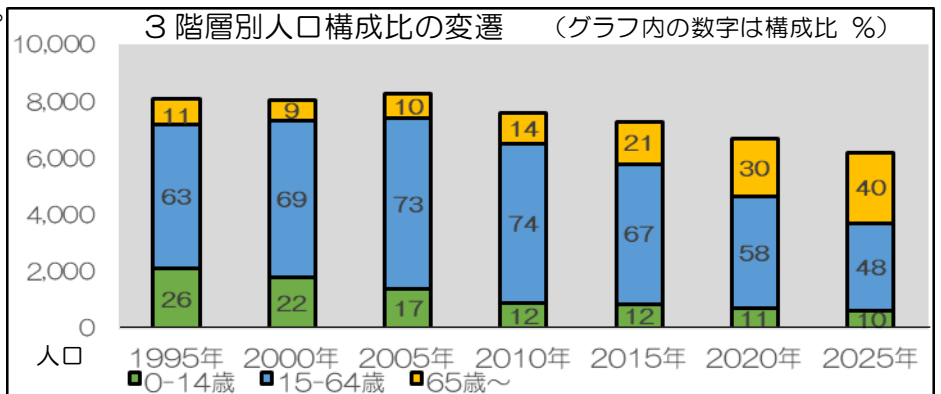
檜野台地区は、青年期、壮年期を経て、今まさに成熟期と言えます。

30年間、皆さんと一緒に培ってきた地域活動を継続し、さらに今の檜野台に合うよう見直しなが、楽しい活動を行っていきたく思います。

今年も楽しく活動しましょう！

檜野台地区 3 階層別人口の推移 (人)

	0-14	15-64	65- 歳	総人口
1995 年	2,096	5,094	928	8,118
2000 年	1,812	5,541	689	8,047
2005 年	1,392	6,017	870	8,279
2010 年	893	5,621	1,096	7,636
2015 年	858	4,932	1,521	7,319
2020 年	720	3,916	2,043	6,773
2025 年	633	3,063	2,516	6,341



資料：国勢調査の人口、各年 10 月 1 日現在 (住民基本台帳に基づく人口とは異なります)

注：2025 年の人口は 10 年間の平均値で推計 階層別人口の合計が総人口と合わないのは年齢不詳者による

もちつき大会

令和 5 年 12 月 10 日

12月とは思えない陽気の中、4年ぶりに「もちつき大会」が行なわれました。早朝からの米蒸、杵つき、もち丸めをリレーで行ない、そしてぜんざいときな粉もちにしてみなさまに召し上がっていただきました。

子どもさんも重たい杵を持ち上げ、もちつき体験を楽しんでいました。



もち米蒸し

第18回 榎野台ふれあいまつり 令和5年10月15日



和太鼓演奏



キッズダンス



ストラックアウト



グラウンドゴルフ



模擬店に長蛇の列

前夜の雨もあがり、秋晴れの榎野台小学校に約 1,200 名の地域住民が集い、盛大に「ふれあいまつり」が開催されました。和太鼓演奏と元気いっぱいのキッズダンスで幕が開き、ゲーム・スタンプラリー・輪投げなど、そして4年ぶりの食べ物の出店もありで、まつりも大いに賑わいました。来年も楽しみですね～♪

大忙しの綿菓子



将来の藤井聡太君？



完売！



ふれ協名物 おでん



バザー



まつりの最後は「ビンゴ～ シュート！」



お礼 皆様から寄付をいただいた品物でバザーを行ないました。売上金 27,640 円の内 20,000 円を「赤い羽根共同募金」に寄付し、7,640 円を榎野台ふれあいのまちづくり協議会の福祉事業に活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

敬老会

令和5年10月1日

オークホールにて4年ぶりに「敬老会」が開催されました。今回から対象者が80歳以上となりましたが、60名の方が参加され、「お久しぶり」「お元気でしたか」「初めまして」等、なごやかな雰囲気になりました。豪華？お弁当を前に話も弾み、アトラクションのオカリナ演奏、コーラス、踊りも楽しんでいただきました。そして最後はビンゴゲーム！大いに盛り上がりました。また来年も会いましょう～。



踊り「マツケンサンバ」



オカリナ演奏



コーラス

榎野台子ども見守り隊

20年ほど前、全国で下校途中の学童が犯罪に遭い犠牲になるという事件が相次いで起き、榎野台地区でも地域の子どもの見守ろうという動きが起こりました。そこで地域の各団体代表者から成る「榎野台小学校評議委員会」が平成17年10月に“榎野台子ども見守り隊”を立ち上げ地域の皆様に声掛けをして今日に至っています。平成19年からは榎野台ふれまち協議会のもとで活動しています。児童たちも地域の温かい見守りを感じて安心して学校生活を送っているようです。

年1回、小学校の校長・教頭先生を交えて、隊員の皆様と意見交換会を実施しています。今回は8月28日に先生2名と隊員19名でおこなわれました。



【意見】

- 子どもさんから元気をもらっている
- 隊員をもっと増やしたい（隊員の高齢化）
- 地域全体にこの活動が知れ渡っていない
- 保護者にももっと協力してもらいたい
- 危険な場所がある（小学校南側の2丁目へ渡る所）

【学校より】

- 隊員の皆様に感謝してます
- 学童も見守られているという安心感を持っている
- 今年度より「どんぐりサポーター」制度を立ち上げたので地域皆様の参加協力を期待したい

※どんぐりサポーター

保護者・地域の方々にサポーター登録をしていただき、榎野台小学校の教育活動（登下校見守り、学習支援、行事サポート等）に協力してもらおう制度
※サポーター登録希望の方は小学校（992-2500）までご連絡下さい

緑のカーテンづくり

「緑のカーテン」とは、ゴーヤ・アサガオなどのツル性植物を窓側に育てて作る自然のカーテンのことです。夏の暑い日差しをやわらげ、省エネもできます。

「緑のカーテンづくり」を希望された方にはゴーヤの苗（3株）と育て方のパンフレットを福祉センターでお渡しする旨で、チラシを地域に回覧し、74名の多数の参加申し込みをいただきました。4月29日に、受け取りに来られた70名にお渡しし、緑のカーテンづくりの成果写真の提供をお願いした結果、7名から写真を受け取りました。ありがとうございます。



研修バスツアー

研修バスツアーに参加して ～ ^{うすらの}鶺野飛行場跡と^{あけのへ}明延鉱山跡 ～ 令和5年6月28日

佐藤 省吾（1丁目）

参加者45名で、まず鶺野飛行場跡（加西市）の見学をしました。昭和18年に多くの人の手で1,200mの滑走路のある飛行場が完成しました。この飛行場で多くの若者が飛行機の操縦訓練をし、太平洋戦争末期には神風特攻隊として飛び立ちました。その若者たちの少し幼さが残っている写真や、彼らが落下傘に書いた決意の遺文が資料館内に展示されていて、改めて平和の大切さを強く感じました。また、当時、飛行場近くの工場では戦闘機が約500機も組立てられました。旧日本海軍の“紫電改（しでんかい）戦闘機”と“97式艦上攻撃機”の実物と同じ大きさの模型2機も展示されています。最高時速600km・航続距離2,400kmなどの高い性能や技術にとっても驚きます。



紫電改（模型）



坑道入口



坑内

つぎに、明延鉱山跡（養父市）を見学しました。この鉱山の銅は東大寺大仏の鑄造にも使われたという言い伝えもあります。昭和62年に閉山した後は見学コースとして公開されています。明治42年には錫の鉱脈が発見されて坑道の総延長は約550km（およそ神戸と東京の距離）、高低差は約1,000m（最深部は海面下）あり、日本一の錫の鉱山として栄えました。迷子になると出て来られないそうで、ガイドさんから離れないように気をつけました。採掘していた当時は、鉱脈の探査・坑道の掘削・鉱石の採掘は非常に厳しい労働だったと思われます。坑内は年中12℃前後で、とても涼しく寒いくらいです。年間の温度が同じため現在では地酒の日本酒の熟成にも利用されています。坑内を見学中にはものすごい雷の音が坑内まで響いていましたが、坑外へ出た時にはちょうど雷雨はあがったところでした。参加者の日頃の行ないのおかげでしょう。

この研修バスツアーで近代の歴史について多くのことを知ることができて、とても良い一日となりました。次回も楽しみにしています。